

県民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

- 1 医療の提供
(1) 政策医療の提供

中期目標	<p>1 医療の提供 県立病院として担う政策医療を確実に実施するとともに、医療の質の向上に努め、県民に信頼される医療を提供すること。</p> <p>(1) 政策医療の提供 救命救急医療や総合周産期母子医療、精神科救急・急性期医療や児童思春期精神科医療など、他の医療機関では対応が困難であるが県民生活に欠くことのできない政策医療を提供し、本県の基幹病院としての役割を担うこと。 また、がんや難病、エイズ、感染症といった県の拠点病院に指定されている疾病について重点的に取り組み、本県医療水準の向上に先導的な役割を果たすこと。 さらに、心神喪失者等医療観察法に基づき医療を提供すること。</p>
-------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

中期計画	年度計画	H22年度上半期 業務実施状況	備考
<p>1 医療の提供 山梨県の基幹病院として求められる政策医療を的確に実施するとともに、高度・特殊・先駆的な医療の推進をはじめ、県民に信頼される質の高い医療を提供す</p> <p>(1) 政策医療の提供 ① 県立中央病院 救命救急医療、総合周産期母子医療、がん医療をはじめとした県民生活に欠くことのできない医療の提供に向けて、一層の高度化、専門化を図る。</p>	<p>1 医療の提供 (1) 政策医療の提供 ① 県立中央病院 救命救急医療、総合周産期母子医療、がん医療をはじめとした県民生活に欠くことのできない医療の提供に向けて、一層の高度化、専門化を図る。</p> <p>ア 救命救急医療 山梨県の三次救急医療を担う救命救急センターと各診療科が連携を図る中で、多発外傷をはじめ、循環器疾患や脳神経疾患に対する迅速で効率的な治療を行うなど、救命救急医療の充実を図る。 また、医師により早期の治療を行うため、ドクターヘリの導入に向けた可能性の研究・検討を行う。</p>	<p>・オンコールの呼び出しなど、各診療科の専門医と連携して治療を実施。 ・県ドクターヘリ導入可能性検討委員会(4回実施)に参加し、11月4日に導入が望ましいとの報告書案が取りまとめられた。 ・受入機関として体制等については、検討中。 ・治療開始を早め、救命率を向上させるため、8月18日からDMATカーに乗車した当院医師が、中間地点で救急車に乗り換えて、救命活動を行っている。(全県内10km以上。10月末現在 15件出動)</p>	
<p>イ 総合周産期母子医療 県内唯一の総合周産期母子医療センターとして、分娩取扱医療機関との連携を図りながら、ハイリスクの妊婦・胎児及び新生児に対し、総合的な医療を提供する。</p>	<p>イ 総合周産期母子医療 地域の分娩取扱医療機関との連携を図りながら、ハイリスクの妊婦・胎児及び新生児に対し、総合的な医療を提供する。</p>	<p>・県内全てのハイリスクの妊婦等の受入れを、国立甲府病院、山梨大付属病院などと役割分担し、専門的な医療を提供している。 (中病への救急搬送 9月末現在 母体64件、新生児22件)</p>	

中期計画	年度計画	H22年度上半期 業務実施状況	備考
<p>ウ がん医療 専門的ながん医療の提供、地域との連携協力体制の構築、がん患者に対する相談支援・情報提供などのがん診療拠点病院としての機能を拡充するとともに院内のより緊密な連携体制を確立する中で、チーム医療を推進するなど、がんの包括的診療体制の整備（センター化）を進め、がん医療の質の向上に努む（イ）外来化学療法室の整備 5大がん(肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がん)を中心としたがん診療を充実するため外来理学療法室を整備する。 (イ) キャンサーボードの充実 がん患者の状態や意向を踏まえた適切な治療を行うため、各専門領域の医師が一堂に会して、手術、化学療法、放射線療法などの治療方法を包括的に議論する場であるキャンサーボードを充実する。</p>	<p>ウ がん医療 がん診療における医療機関の役割分担を進め、がん医療の質の向上と安全の確保を図るために、地域連携クリニックカルパスを平成23年度までに地域がん診療連携拠点病院と共同で作成する。 (ア) 外来化学療法室の整備 がん診療を充実するため、外来化学療法室を整備し、外来化学療法を推進する。 (イ) キャンサーボードの充実 がん患者の状態や意向を踏まえた適切な治療を行うため、各専門領域の医師が一堂に会して、手術、化学療法、放射線療法などの治療方法を包括的に議論する場であるキャンサーボードを充実する。 (ウ) 緩和医療チームの充実 身体症状及び精神症状の緩和に携わる医師、専門の看護師などから構成する緩和医療チームを整備し、緩和ケア診療を充実する。 初期段階からの緩和ケア診療を充実する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・包括的ながん診療体制の強化を図るため、4月からがん診療部を新設した。 ・院外の医師等を含めて、地域連携クリニックカルパス勉強会（参加者50名余）を12月までに3回開催。 ・10月までに5大がんのうち、肺がん、胃がん、大腸がんのクリニックカルパスを策定済み。肝がんについては来年10月までに策定予定。 ・10月から来年5月まで毎月1回、県民向けがんセミナーを新たに創設。 ・6月1日から、外来化学療法室を整備(20床)。(実績6月288人、7月312人、8月279人、9月357人、10月339人) ・消化器、呼吸器、頭頸部、がん診療部の4つのキャンサーボードを毎月開催。(10月末現在 26回実施) 院外の医療従事者へも開放している。 ・緩和医療チームとして、医師・看護師等からなる「オンコ・ソバルーン・チーム」を編成。 ・緩和医療チームにより、毎月、院外参加もできる多職種による緩和医療勉強会を実施(10月までに4回)。 ・がん診療委員会の部会として、緩和ケア部会10月までに2回開催し、併せて症例検討会(月に8回程度)を実施。 	
<p>エ 難病(特定疾患) 医療 県立病院の機能を活かして専門医の継続的な治療を行うとともに、関係医療機関との連携を強化しながら最適な医療提供を行う。</p>	<p>エ 難病(特定疾患) 医療 専門医の継続的な治療を行うとともに、関係医療機関との連携を強化しながら、最適な医療提供を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・難病医療拠点病院として、神経難病は山梨大学、それ以外は中央病院で役割分担している。 	
<p>オ エイズ医療 患者に対する総合的、専門的な医療を提供するとともに、臨床心理士によるカウンセリングを導入するなど、エイズ治療拠点病院としての機能を発揮する。</p>	<p>オ エイズ医療 患者に対する総合的、専門的な医療を提供するとともに、患者の精神的負担をケアするため、臨床心理士によるカウンセリングを実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・患者からの要望に応じ、医師の判断に基づいて、臨床心理士によるカウンセリングを実施する体制を整えている。 ・臨床心理士を含む、HIV部会を開催し、事例研修、診療方針等を決定している。 ・エイズ研修会を実施。(10月末現在 2回開催) 	
<p>カ 感染症医療 一類感染症(エボラ出血熱など7疾患)患者を受け入れる病室を活用し、第1種感染症指定医療機関としての医療を提供する。 また、新型インフルエンザ患者など感染症患者に対する外来診療や重篤患者に対する陰圧個室を使った入院治療など、専門的な医療を提供する。</p>	<p>カ 感染症医療 一類感染症(エボラ出血熱など7疾患)患者を受け入れる病室を活用し、第1種感染症指定医療機関としての医療を提供する。 また、新型インフルエンザ患者など感染症患者に対する外来診療や重篤患者に対する陰圧個室を使った入院治療など、専門的な医療を提供する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一類感染症の患者を受け入れられる感染症病床2床、結核病床20床を確保し、受入体制は整っている。 	

中期計画	年度計画	H22年度上半期 業務実施状況	備考
<p>②県立北病院 精神科救急・急性期医療などの充実を図るとともに、新たに心神喪失者等医療観察法に基づく指定入院医療機関としての機能を整備する。 精神科救急・急性期医療 集中的な治療を要する患者に、急性期の特性に合わせ、手厚い治療と多職種治療チームによる総合的であり、通院や退院後のリハビリテーションに結びつける。</p>	<p>②県立北病院 精神科救急・急性期医療などの充実を図るとともに、心神喪失者等医療観察法に基づく指定入院医療機関としての機能を整備する。 精神科救急・急性期医療 集中的な治療を要する患者に、急性期の特性に合わせ、手厚い治療と多職種治療チームによる総合的であり、通院や退院後のリハビリテーションに結びつける。</p>	<p>・患者の治療、退院促進・退院後のリハビリについて、多職種の職員によるケース会議等を開催している。</p>	
<p>イ 児童思春期精神科医療 思春期に特有な精神疾患の治療について、県内唯一の児童思春期病棟を中心に、関係機関と連携して医療を提供する。</p>	<p>イ 児童思春期精神科医療 思春期に特有な精神疾患の治療について、児童思春期病棟を中心に、関係機関と連携して医療を提供する。</p>	<p>・4月から、思春期精神科ショートケアを新たに実施している。 ・他県の状態を参考とするため、視察研修を実施している。</p>	
<p>ウ 心神喪失者等医療観察法に基づく医療 心神喪失者等医療観察法に基づく指定入院医療機関を整備し、対象者に対して、一貫した治療体系中で適切な治療を提供し、社会復帰の促進を図る。</p>	<p>ウ 心神喪失者等医療観察法に基づく医療 心神喪失者等医療観察法に基づく指定入院医療機関を整備し、入院治療を開始する。</p>	<p>・7月下旬から指定入院医療機関(5床整備)を開設。 (7/22に1人、8/30に1人 10/14に1人 計3人が入院中)</p>	

県民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

- 1 医療の提供
(2) 質の高い医療の提供

中期目標	1 医療の提供 (2) 質の高い医療の提供 専門的知識と技術の向上に努めるとともに、優秀な、医師・看護師等（以下「医療従事者」という。）の確保を図ることなどにより、先駆的で質の高い医療を提供すること。
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------

中期計画	年度計画	H22年度上半期 業務実施状況	備考
(2) 質の高い医療の提供	(2) 質の高い医療の提供		
<p>① 医療従事者の確保</p> <p>ア 医師の育成・確保 高度で専門的な医療を提供するため、人間的資質が優れ、診察能力が高い医師の育成・確保に努める。</p>	<p>② 医療従事者の確保</p> <p>ア 医師の育成・確保 質の高い医療を提供するため、引き続き関係機関との連携を図り、医師の確保に努める。 ・医師の研修内容や育成方法について検討を進める。 ・研修医などを対象とした医師宿舎を新築し、働きやすい環境の整備を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・山梨大学をはじめとする関連大学に対し、医師派遣を依頼している。 ・メデイカル・グラウンドラウンド（研修医向け実践的講義）の新たに実施。 ・病院会議の中で、各分野の職員を講師に研修を実施。 ・8月～12月に他病院に医師派遣研修として2名を派遣。（腹腔鏡手術の研修） ・医師宿舎は、3月に契約し、10月現在の進捗率43.8%。（完成は来年2月末） 	
<p>イ 7対1看護体制の導入 患者一人一人の症状に応じた、きめ細かな看護を実施するため、県立中央病院において、入院患者7人に看護師1人を配置する7対1看護体制を導入するとともに、適切な人事管理などを進め、県立病院への定着を図る。</p>	<p>イ 7対1看護体制の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護師採用試験の複数回実施や、県外での試験の実施、中途採用などの多様な採用方法を導入し、必要な看護師の確保を図る。 ・よりきめ細やかな看護の実施や、看護師の離職防止に役立つことから、運用病床や看護師の配置の見直しを行い、7月から7対1看護体制を導入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・7対1看護体制を開始し、順調に運営している。（診療報酬の算定は7月実績を基に8月から実施。） ・7対1看護体制の導入に必要な看護師を4月から採用した。 ・中途退職者の補充のため、正規職員の中途採用を実施。（8月採用2人、10月採用2人） ・看護師試験は、7月に第1回、8月に第2回、10月に第3回を実施、1月頃に第4回を実施予定。 	
<p>② 医療の標準化と最適な医療の提供</p> <p>ア クリニカルパスの推進 治療内容とタイムスケジュールを明確に示すことで患者の不安を解消するとともに、治療手順の標準化、平均在院日数の適正化など、最適な医療を提供するため、クリニカルパスを推進する。</p>	<p>② 医療の標準化と最適な医療の提供</p> <p>ア クリニカルパスの推進 現在、適用しているクリニカルパスの点検・見直しを行うとともに、新たなパスの導入の仕組みを進める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・クリニカルパスの電子化を推進している。（263件） <p>・このうち、本年度からDPICに対応するため、85件のクリニカルパスの見直しを実施した。</p>	

中期計画	年度計画	H22年度上半期 業務実施状況	備考
<p>① 診断群分類包括評価（DPPC）の導入 医療内容の標準化を進めてより適切な医療を提供するため、県立中央病院において、専門の職員を採用し、診断群分類包括評価（DPPC）を導入するとともに、そこから得られる詳細な診療情報を最大限活用する。</p> <p>③ 高度医療機器の計画的な更新・整備 各種高度医療機器を計画的に更新・整備するとともに適切な維持管理を行う。</p>	<p>① 診断群分類包括評価（DPPC）の導入 県立中央病院において、7月から診断群分類包括評価（DPPC）を導入するとともに、そこから得られる情報を医療サービスの見直しに活用する。</p> <p>③ 高度医療機器の計画的な更新・整備 各種高度医療機器を計画的に更新・整備するとともに適切な維持管理を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・7月からDPCIに移行した。 ・今後は、DPCから得られる多様な診療情報を活用し、医療の標準化や効率化を図っていく。 ・予算4億6千万円のうち、MRI2億円を除く、2億6千万円については、1億4千万円を執行済み。 ・MRIについては、12月初旬までに入札予定。 	

県民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

- 1 医療の提供
- (3) 県民に信頼される医療の提供

中期計画	1	医療の提供 (3) 県民に信頼される医療の提供 県民・患者の視点に立ち、県民ニーズを踏まえた信頼される医療を提供すること。
------	---	---------------------------------------------------------------------

中期計画	年度計画	H22年度上半期 業務実施状況	備考
------	------	-----------------	----

(3) 県民に信頼される医療の提供 医療の専門化・高度化が進む中で、疾病や診療に関する十分な説明を行い、患者・家族の理解を得るとともに、医療安全対策を徹底し県民に信頼される医療の提供に努める。	(3) 県民に信頼される医療の提供		
-----------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------	--	--

① 医療倫理の確立 患者の尊厳を尊重する医療倫理を確立するため、倫理委員会でのチェックや職員研修を実施する。	① 医療倫理の確立 患者の尊厳を尊重する医療倫理を確立するため、倫理委員会でのチェックや職員研修を実施する。	・倫理委員会において、改正臓器移植法の施行に伴い、倫理規程を見直し。 ・9月に、「患者の権利保護研修会」11月に医療倫理研修会(周産期医療における倫理的問題)を実施。	
-----------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------	--

② 患者・家族との信頼・協力関係の構築 疾病の特性・医療行為の内容と効果及び副作用・リスクに関する十分な説明と理解(インフォームド・コンセント)に基づき最適な医療を提供する。 また、医療行為等に関し、患者との見解の相違などが生じた場合には、担当医師等を中心として、真摯にかつ適切な対応を図る。	② 患者・家族との信頼・協力関係の構築 疾病の特性・医療行為の内容と効果及び副作用・リスクに関する十分な説明と理解(インフォームド・コンセント)に基づき最適な医療を提供する。 また、医療行為等に関し、患者との見解の相違などが生じた場合には、担当医師等を中心として、真摯にかつ適切な対応を図る。	・インフォームド・コンセントに基づき、適切に実施している。	
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------	--

③ 医薬品等に関する情報の確かな提供 医薬品の処方、投薬の安全性の確保に努めるとともに医薬品情報検索システムの活用などにより、処方上の留意点など医薬品情報の共有を図り、患者に対する服薬指導を実施する。	③ 医薬品等に関する情報の確かな提供 医薬品の処方、投薬の安全性の確保に努めるとともに処方上の留意点など医薬品情報の共有を図り、患者に対する服薬指導を実施する。	・患者とのコミュニケーションを図りながら、処方薬の薬効や服薬方法についてわかりやすく説明し、患者が納得して服薬できるように、服薬指導を実施している。(9月末現在 患者数1,003人、回数1,056件)	
---------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

④ 患者サービスの向上 外来患者の待ち時間や患者満足度調査を毎年定期的に実施し、より正確な実態の把握に努め、診療予約制度の効率的運用など各種サービスの向上に努める。	④ 患者サービスの向上 外来患者の待ち時間や患者満足度調査を実施し、診療予約制度の効率的運用など各種サービスの向上に努める。	・9月～10月に入院患者を対象にした患者満足度調査を実施。 ・10月4日～8日の5日間に外来患者を対象に待ち時間を含めた患者満足度調査を実施。 ・年度内に集計作業を行い、課題を明らかにした上で、改善に向けた取り組みをすすめる。 (回収数 外来患者2,366件(5日間)、入院患者1,690件(2カ月))	
---------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

⑤ 診療情報の適切な管理 紙カルテの適切な保管、電子カルテに係る運用規定の遵守など患者の診療情報を厳格に管理するとともに、患者・家族に対する診療情報の開示を適切に実施する。	⑤ 診療情報の適切な管理 紙カルテの適切な保管、電子カルテに係る運用規定の遵守など患者の診療情報を厳格に管理するとともに、患者・家族に対する診療情報の開示を適切に実施する。	・カルテの記載内容について、診療録管理委員会を中心に、適切な記載方法を院内に周知している。 ・カルテ開示については、運用規程に基づき、適切に実施している。(10月現在 14件)	
-------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------	--

中期計画	年度計画	H22年度上半期 業務実施状況	備考
<p>⑥診療支援システムの充実 県立北病院において、適切で効率的な医療を提供するため、電子カルテの導入や既存システムの機能向上など、各種診療支援システムを充実する。</p>	<p>⑥診療支援システムの充実 県立北病院において、電子カルテ、オーダーリングシステム、医事会計システム等を中心とした診療支援システムを整備する。</p>	<p>・精神科に特化したシステムは複数あるが、各社とも導入実績が少なく、導入した病院の評価を見ていきたい。 ・現行の医事会計システムを継続すれば、導入予定の本体であるオーダーリングシステム・電子カルテの選定幅が狭められることから、さらに検討する必要がある。</p>	
<p>⑦医療安全に関する情報の収集・分析 ア リスクマネージャの活用 専従のリスクマネージャを配置した医療安全管理室の機能を活用して、医療安全に関する情報の収集や分析を行うとともに、各部門のリスク管理者への研修など医療安全教育を徹底する。</p>	<p>⑦医療安全に関する情報の収集・分析 ア リスクマネージャの活用 リスクマネージャを活用し、医療安全に関する情報の収集や分析を行うとともに、各部門のリスク管理者への研修など医療安全教育を徹底する。</p>	<p>・リスクマネージャが、インシデントレポートを集計・分析し、医療安全委員会、病院会議へ報告し、必要に応じ院内インフォメーションで周知している。(インシデント・レポート数 9月末現在 1,481件) ・全職員を対象とした医療安全研修会を実施。(12月までに2回予定)</p>	
<p>イ 情報の共有化 チーム医療を推進する中で、より確かな医療安全対策を講じるため、医療従事者間における医療関係情報の共有化を図る。</p>	<p>イ 情報の共有化 より確かな医療安全対策を講じるため、医療従事者間における医療関係情報の共有化を図る。</p>	<p>・リスクマネージャが、インシデントレポートを集計・分析し、医療安全委員会、病院会議へ報告し、必要に応じ院内インフォメーションで周知している。(インシデント・レポート数 9月末現在 1,481件)</p>	

県民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

2 医療に関する調査及び研究

中期目標	2 医療に関する調査及び研究 県立病院で提供する医療の質の向上、県内の医療水準の向上、県民の健康の確保及び増進、また、新たな医療技術への貢献のため、調査及び研究に取り組むこと。
------	---------------------------------------------------------------------------------------------

中期計画	年度計画	H22年度上半期 業務実施状況	備考
<p>2 医療に関する調査及び研究</p> <p>県立病院の有する医療資源を活用した調査及び研究を進めその成果を積極的に情報発信する。</p> <p>(1) 新薬開発等への貢献 新薬開発等に貢献するため治療の効果や安全性を確認するための治験を積極的に実施する。</p> <p>(2) 各種調査研究の推進 医療技術の向上に貢献するため、豊富な臨床事例をもとに、各種調査研究を積極的に推進する。</p>	<p>2 医療に関する調査及び研究</p> <p>(1) 新薬開発等への貢献 新薬の開発等に貢献するため、治療の効果や安全性を確認するための治験を積極的に実施する。また、治験に関する情報をホームページ等で公開する。</p> <p>(2) 各種調査研究の推進 医療技術の向上に貢献するため、臨床事例をもとに、各種調査研究を積極的に推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・がん分野で10月までに新たに治験3件を開始。(前年度からの継続はなし) ・HPで公開している。 ・国内外の各種学会へ積極的に参加し、発表している。 ・院内学術会議を行っている。(10月までに2回実施) 	

県民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

3 医療に関する技術者の研修

<p>3 医療に関する技術者の研修 優秀な医療従事者の確保と育成を図るとともに、県内の医療水準の向上のため、他の医療機関と連携して研修等の充実に努めること。 (1) 医療従事者の研修の充実 医療従事者の知識・技術の向上を図り、また、医療従事者に魅力ある病院となるよう研修の充実に努めること。 (2) 県内の医療水準の向上 他の医療機関等の医療従事者に対し、県立病院の持つ知識や技術を研修等により普及し、県内の医療水準の向上を図ること。 また、医療従事者養成機関等の実習の受け入れ等、本県医療の未来を担う医療従事者の育成に協力すること。</p>	<p>中期計画</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------

<p>3 医療に関する技術者の研修 医療従事者の交流を進める。 (1) 医療従事者の研修の充実 ①医師の専門性の向上 研修体制の充実や専門医・認定医等の資格取得を支援し、医師の専門性の向上を図る。 ②認定看護師等の資格取得促進 認定看護師等の資格取得を支援するとともに、資格を取得しやすい環境を整える。 ③研修の充実 院内研修会の開催をはじめ、先進的な研修・研究会への派遣などを行い職員の資質の向上を図る。</p>	<p>中期計画</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------

<p>3 医療に関する技術者の研修 (1) 医療従事者の研修の充実 ①医師の専門性の向上 研修体制の充実や専門医・認定医等の資格取得を支援するとともに、医師の専門性の向上を図る。 ②認定看護師等の資格取得促進 認定看護師等の資格取得を支援するとともに、資格を取得しやすい環境を整える。 ③研修の充実 院内研修会の開催をはじめ、先進的な研修・研究会への派遣などを行い職員の資質の向上を図る。</p>	<p>年度計画</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------

<p>H22年度上半期 業務実施状況</p>	<p>備考</p>
------------------------	-----------

<p>(2) 県内の医療水準の向上 ①地域医療従事者の研修 他の地域医療機関の医療従事者を対象とした、医療技術の向上に資する研修を実施する。 ②研修、実習等の実施 他の医療機関の医療従事者を対象に、拠点病院として有する知識や技術を活かして、がん診療、感染症診療等に係る研修を実施する。 ③医療従事者養成機関からの実習生受け入れ 看護師、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師などを目指す実習生を養成機関から積極的に受け入れ人材養成の支援に努める。</p>	<p>(2) 県内の医療水準の向上 ①地域医療従事者の研修 他の地域医療機関の医療従事者を対象とした病院セミナーの定期的な開催など、医療技術の向上に資する研修を実施する。 ②研修、実習等の実施 他の医療機関の医療従事者を対象に、拠点病院として有する知識や技術を活かして、がん診療、感染症診療等に係る研修を実施する。 ③医療従事者養成機関からの実習生受け入れ 看護師、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師などを目指す実習生を養成機関から積極的に受け入れ人材養成の支援に努める。</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>・8月～12月に他病院に医師派遣研修として2名を派遣。(腹腔鏡手術の研修)。 ・国内外の各種学会に積極的に参加し、発表している。 ・院内学術会議を行っている(10月現在 2回実施)。 ・糖尿病分野の認定看護師資格取得のため、1名が研修中。 ・認定看護師は13名在籍。(中央病院10名、北病院3名) ・教育研修委員会の研修の実施(接遇研修会、患者の権利保護研修会、医療倫理研修会)。 ・院内の各部門研修会の実施。</p> <p>・がん医療従事者研修会を実施予定 (11/6、12/3、1/21、2/18、3/4・5)。 ・地域・周産期医療従事者研修会(新生児蘇生法講習会)の開催(10月末現在 3回実施)。 ・NST(栄養サポートチーム)専門療法士実地修練を実施。(10月末現在 4人) ・エイズ研修会を開催(10月末現在 2回実施)</p> <p>・看護師、薬剤師、栄養士等で実施。 (10月末現在 受入状況 看護師(県立大316人)、 薬剤師(帝京大等3人)、栄養士(山梨学院短大3人))</p>	
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

県民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

4 医療に関する地域への支援

中期目標	<p>4 医療に関する地域への支援 本県の基幹病院として、他の医療機関と密接な連携を通じて、県民に良質な医療を提供するとともに、地域の医療機関から信頼され、必要とされる病院となるよう努めること。</p> <p>(1) 地域医療機関との協力体制の強化 県立病院として、他の医療機関との協力のもと、病病・病診連携を推進し、県全体として県民に適切な医療を提供できる体制の構築に努めること。</p> <p>(2) 地域医療への支援 医療機器等の共同利用の促進など、地域医療への支援を行うこと。 また、臨床研修指定病院等としての機能を充実し、研修医や専修医の育成を図り、県内の公的医療機関の医師の確保・定着に協力すること。 さらに、県立病院に必要な医師の確保を図る中で、公的医療機関への支援に努めること。</p> <p>(3) 社会的な要請への協力 県立病院が有する人材や知見を提供し、鑑定、調査、講師派遣など社会的な要請に積極的に協力すること。</p>
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

中期計画	年度計画
------	------

<p>4 医療に関する地域への支援 地域医療機関との連携の強化及び機能の分担を図る中で、県立病院の機能を活かし、医療に関する地域への支援を行う。</p>	<p>4 医療に関する地域への支援</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------

<p>(1) 地域医療機関との協力体制の強化 県立中央病院が、他の医療機関との協力のもと、病院と病院との連携や病院と診療所との連携である、いわゆる病病・病診連携を推進し、県全体として県民に適切な医療を提供できる体制を構築するため、地域医療機関の医師との共同利用病床を整備するとともに、紹介率・逆紹介率の向上や登録医制度の普及に努めるなど、医療法（昭和23年法律第205号）第4条に定められた地域医療支援病院の承認に向けた取り組みを進める。</p>	<p>(1) 地域医療機関との協力体制の強化 県立中央病院が、他の医療機関との協力のもと、県全体として県民に適切な医療を提供できる体制を構築するため、総合相談センターから地域連携医療部への改編や、紹介率・逆紹介率の向上や登録医制度の普及に努めるなど、医療法（昭和23年法律第205号）第4条に定められた地域医療支援病院の承認に向けた取り組みを進める。</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>(2) 地域医療への支援 ① 医療機器の共同利用 県立中央病院の施設、設備、高度・特殊な医療機器の共同利用などを進める。 ② 臨床研修医、専修医の受け入れ態勢の強化 県立病院の機能を活かした研修プログラムの内容の充実を図るとともに、指導医の育成、資質向上に積極的に取り組むことで、臨床研修医と専修医を増やし、本県への医師の定着を促進する等地域医療への支援を行う。 また、精神科に係る専修医の研修体制を新たに県立北病院に整備する。 ③ 公的医療機関の支援 県立病院の医師の増員を図る中で、公的医療機関への外来診療の応援協力がしやすい仕組み作りを進める。 ④ 県内の医師トレーニングセンター化の推進 県内の各地域医療機関に勤務する自治医科大学の卒業生等が、地域の医療ニーズに的確に対応できるように、必要な知識や技術の修得を支援する。</p>	<p>(2) 地域医療への支援 ① 医療機器の共同利用 県立中央病院の施設、設備、医療機器の共同利用に向けた制度の検討を進める。 ② 臨床研修医、専修医の受け入れ態勢の強化 研修プログラムの内容の充実を図るとともに、指導医の育成、資質向上に取り組む。精神科に係る専修医の研修体制を県立北病院に整備する。 ③ 公的医療機関の支援 公的医療機関への外来診療の応援協力がしやすい仕組みの検討を進める。 ④ 県内の医師トレーニングセンター化の推進 県内の各地域医療機関に勤務する自治医科大学の卒業生等が、地域の医療ニーズに的確に対応できるように、必要な知識や技術の修得を支援する。</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

H22年度上半期	業務実施状況	備考
----------	--------	----

<p>・地域の医療機関との連携関係の強化を図るため、総合相談センターから地域医療連携部への組織改編を実施。 ・理事長、院長、事務局長が県内40病院を訪問し、意見交換を実施し、それを基に、9月17日に病院間の連携に携わる看護師等の医療スタッフが一同一に会した病院連携室会議（出席者 29病院50名余）を開始。</p>	
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

<p>・CT、MRI、Ri等の放射線検査機器を活用し、開業医等から、依頼検査を実施。（毎月10件程度） ・初期臨床研修プログラムや後期研修プログラムの改定をし、中病の専修医数は17→21名に増加。 ・4月から、北病院に後期臨床研修医制度をつくり、専修医2名を受入れた。 ・臨床研修内容の充実を図り、新たに後期臨床研修医を対象としてレジデントフェア2010へ出展、病院説明会の開催など研修医募集の広報活動を精力的に実施。 ・平成23年度研修医定員12名に対する応募者は、前年度20名に対し30名に増加するなかで、100%のマッチングを確保。 ・応援協力の仕組みを検討中。 ・県内の地域医療機関に勤務する自治医科大学の卒業生の研修を中央病院で受入れ。（飯富病院5人、塩川病院3人、南部医療センター1人）</p>	
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

中期計画	年度計画	H22年度上半期 業務実施状況	備考
<p>(3) 社会的な要請への協力</p> <p>① 救急救命士の育成 救急救命センターの機能を活かして、救急救命士の育成に努める。</p> <p>② 看護師養成機関等への講師派遣 看護師養成機関での授業や地域医療機関の医療従事者を対象とした研修会などに対し、講師を派遣する。</p> <p>③ 公的機関からの鑑定・調査への協力 公的機関からの医療に関する鑑定や調査について積極的に協力する。</p>	<p>(3) 社会的な要請への協力</p> <p>① 救急救命士の育成 救急救命センターの機能を活かして、救急救命士の育成に努める。</p> <p>② 看護師養成機関等への講師派遣 看護師養成機関での授業や地域医療機関の医療従事者を対象とした研修会などに対し、講師を派遣する。</p> <p>③ 公的機関からの鑑定・調査への協力 公的機関からの医療に関する鑑定や調査について積極的に協力する。</p>	<p>・救急救命士に対し、就業前実習、再教育実習、薬剤投与実習、気管挿管実習などを実施。 (10月末現在 再教育実習等65名、気管挿管実習6名)</p> <p>・県立大学、甲府看護専門学校、富士吉田市立看護専門学校に対し職員を講師として派遣している。</p> <p>・捜査機関からの照会、労働基準監督署等の鑑定、各種医療機関等からの調査に、協力している。</p>	

県民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

5 災害時における医療救護

中期目標	<p>5 災害時における医療救護 災害時における県民の生命・安全を守るため、医療救護活動の拠点機能を担うとともに、災害医療チームを派遣するなど医療救護に取り組むこと。</p> <p>(1) 医療救護活動の拠点機能 日頃から災害等に対する備えに努め、大規模災害等における本県の医療救護活動の拠点機能を担うこと。</p> <p>(2) 他県等の医療救護への協力 他県等の大規模災害等においても、災害医療チームを派遣するなど、積極的に医療救護活動に協力すること。</p>
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

中期計画	年度計画	H22年度上半期 業務実施状況	備考
<p>5 災害時における医療救護 県立病院として、日頃から災害発生時における適切な医療救護活動が実施できるよう訓練するとともに、災害時においては、山梨県地域防災計画（大規模災害時医療救護マニュアル）に基づき、迅速な医療救護活動に取り組む。</p> <p>(1) 医療救護活動の拠点機能 大規模災害を想定したトリアージ訓練などを定期的に行うとともに、災害発生時には、知事の要請に応じてDMATを派遣するなど、基幹災害拠点病院としての機能を発揮する。</p> <p>(2) 他県等の医療救護への協力 他県等の大規模災害等においても、知事の要請に応じてDMATを派遣するなど、積極的に医療救護活動に協力する。</p>	<p>5 災害時における医療救護</p> <p>(1) 医療救護活動の拠点機能 大規模災害を想定したトリアージ訓練などを定期的に行うとともに、災害発生時には、知事の要請に応じてDMATを派遣するなど、基幹災害拠点病院としての機能を発揮する。</p> <p>(2) 他県等の医療救護への協力 他県等の大規模災害等においても、知事の要請に応じてDMATを派遣するなど、積極的に医療救護活動に協力する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・10月23日にボランティア30名の参加した大規模災害時対応訓練を実施。 ・DMATチームの構成員である、医師、看護、事務を職種別の研修に参加させている。(事務職は12月に研修に参加予定) ・本年度のDMAT隊員は、医師5人、看護師8人、事務2人を確保。 ・(1チームは、医師2人、看護師2人、事務1人で編成) ・DMATの派遣要請があった、6月に化学災害訓練、9月1日に静岡県 の国主催大規模災害訓練、9月に甲府地区消防本部の災害訓練、10月に県地震防災訓練に派遣。3月に中部ブロックDMAT実動訓練を中央病院で開催予定。 	

法人の業務運営の財務状況に関する事項

1 簡素で効率的な運営体制の構築

1 簡素で効率的な運営体制の構築
医療を取り巻く環境の変化に的確に対応でき、医療の質の向上と経営基盤の強化が図られる運営体制を構築すること。

中期計画

年度計画

1 簡素で効率的な運営体制の構築

1 簡素で効率的な運営体制の構築 全職員が一丸となつて、医療サービスの向上と経営改善に取り組み。また、法人設立時には県との間において職員を相互に派遣することにより人材を確保するが、おおむね10年以内を目的にプロパー化を進め、派遣の解消を
(1) 病院機構内における適切な権限配分
効率的で効果的な管理運営を図るため、本部と病院との適切な権限配分を行う。
(2) 業務の集約化
薬品や診療材料の一括契約など、事務部門の集約化を進める。

(1) 病院機構内における適切な権限配分
効率的で効果的な管理運営を図るため、本部と病院との適切な権限配分を行う。
(2) 業務の集約化
薬品や診療材料の一括契約など、両病院共通事務を本部に集約する。

H22年度上半期 業務実施状況

備考

・4月から管理体制を明確にするため、診療科ごとに責任者として科長制度を創設。
・年休取得、時間外勤務命令の決裁権限を看護師長等に下ろした。
・薬品、医療ガスについては、中病・北病の契約を一本化している。

法人の業務運営の財務状況に関する事項

2 効率的な業務運営の実現

2 効率的な業務運営の実現
病院機構が有する医療資源の有効活用や業務の見直しを行い、効率的な業務運営の実現を図ること。

中期計画

年度計画

2 効率的な業務運営の実現

(1) 弾力的な職員配置
医療ニーズの多様化・高度化、患者動向などを踏まえ、必要な職員を機動的に採用するとともに、法人内における弾力的な配置を進め、効果的、効率的な医療提供に努める。
(2) 外部委託の推進
不断の業務内容の見直しを進め、業務の外部委託を一層進める。

2 効率的な業務運営の実現

(1) 弾力的な職員配置
医療ニーズの多様化・高度化、患者動向などを踏まえ、必要な職員を機動的に採用するとともに、法人内における弾力的な配置を進める。
(2) 外部委託の推進
北病院の給食業務の委託化など、業務の外部委託を進める。

H22年度上半期 業務実施状況

備考

・4月から、7対1看護体制のために看護師30名純増、外来化学療法のために薬剤師2名純増等。
・4月から北病院の給食業務を外部委託した。

法人の業務運営の財務状況に関する事項

3 経営基盤を強化する収入の確保、費用の節減

<p>中期目標</p>	<p>3 経営基盤を強化する収入の確保、費用の節減 良質な医療を安定的に提供できる経営基盤の強化を図るため、診療報酬改定への適切な対応や料金の定期的な見直しなど収入の確保に努めるとともに、費用対効果を検討する中で、費用の節減に努めること。</p>
-------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

中期計画

年度計画

H22年度上半期 業務実施状況

備考

<p>3 経営基盤を強化する収入の確保、費用の節減</p> <p>(1) 診療報酬請求の事務の強化 診療報酬事務職員の専門研修の実施やプロパー化等により、診療報酬部門の強化を図り、診療報酬改定に迅速かつ適切に対応することができる人員体制や院内の連携体制を構築するとともに、レポート請求の迅速化及び減点防止を徹底するなど診療報酬請求事務の強化を図る。</p> <p>(2) 料金収入の見直し 診療報酬基準以外の料金の定期的な見直しを行い、適正な料金の設定を図る。</p> <p>(3) 未収金対策 患者負担金に係る未収金については、定期的な請求・督促をはじめ、未収金の発生を防止するとともに、回収業務の専門家の活用など、早期回収に努める。</p> <p>(4) 材料費の抑制 後発医薬品の採用や院外処方の推進等により材料費の抑制を図る。</p> <p>(5) 多様な契約手法の活用 複数年契約、複合契約等の多様な契約手法を活用し、さらなる費用の節減に取り組む。</p>	<p>3 経営基盤を強化する収入の確保、費用の節減</p> <p>(1) 診療報酬請求の事務の強化 各病院の医事担当の増員や、県立中央病院に診療報酬管理士を新たに配置し診療報酬部門の強化を図るとともに、診療報酬に関する院内研修を実施するなど、診療報酬請求事務の強化を図る。</p> <p>(2) 料金収入の見直し 売店やレストラン等の賃借料を見直し、適正な料金の設定を図る。</p> <p>(3) 未収金対策 患者負担金に係る未収金については、定期的な請求・督促をはじめ、未収金の発生を防止するとともに、回収業務の専門家の活用など、早期回収に努める。</p> <p>(4) 材料費の抑制 契約方法や契約内容、価格交渉のあり方などの見直しを進め、購入費の抑制を図る。</p> <p>(5) 多様な契約手法の活用 複数年契約、複合契約等の多様な契約手法を活用し、さらなる費用の節減に取り組む。</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>法人の業務運営の財務状況に関する事項</p> <p>4 事務部門の専門性の向上</p>	<p>4月から、中央病院の医事課の正規職員1名増、北病院の医事業務担当の正規職員1名増。 中央病院の医事課に診療情報管理士2名を採用(臨時職員)。 ・DPC導入に関わる研修会の開催。</p> <p>・4月から、レストラン、喫茶店、理髪店等は、従前の行政財産使用許可に代え、入札による定期賃貸借契約を締結。 ・自動販売機は、売上に比例した賃貸借契約を締結。 ・売店は、前の許可業者と係争中。 ・他県の県立病院の例や、県内他病院の状況を踏まえ、分べん介助料、新生児管理保育料を改定。</p> <p>・未収患者に対し受診から1ヶ月後に納入通知書を送付し、入院患者は2ヶ月後に督促状を送付し、未収金の長期化抑制に努めている。また翌々年度当初に再度督促を通知。 ・併せて、発生から1年以上の債権の回収を弁護士に委託。 (H21年11月～H22年9月 委託した債権額112,169千円 委託件数2,949千円 回収金額5,473千円(回収率4.9%)支払約束13,915千円) ・業務委託、保守点検委託等は、複数年契約を実施。 ・単品入札でなく、スクールキットを創出するため、類似品をまとめて入札している。</p>	<p>H22年度上半期 業務実施状況</p>	<p>備考</p>
------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------	-----------

<p>法人の業務運営の財務状況に関する事項</p> <p>4 事務部門の専門性の向上</p>	<p>4 事務部門の専門性の向上 診療報酬体系等の病院特有事務に精通した職員を育成、確保することにより、専門性の向上を図ること。</p>
------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------

中期計画

年度計画

H22年度上半期 業務実施状況

備考

<p>4 事務部門の専門性の向上</p> <p>事務職員の専門性を高めるため、病院経営に関する知識・経験を有する民間等の人材を活用するとともに、医療事務に精通したプロパー職員の採用など、専門性をもつ経営管理部門の職員を計画的に育成する。</p>	<p>4 事務部門の専門性の向上</p> <p>事務職員の専門性を高めるため、民間の人材の活用や、事務職員のプロパー化に向け、検討を行う。</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------

<p>中期目標</p>	<p>4 事務部門の専門性の向上 事務職員の専門性を高めるため、民間の人材の活用や、事務職員のプロパー化に向け、検討を行う。</p>	<p>H22年度上半期 業務実施状況</p>	<p>備考</p> <p>・事務職員の採用計画を策定し、より専門性の高い職員を確保することとする。 ・併せて事務職員のプロパー化に向けた検討を行う。</p>
-------------	-----------------------------------------------------------------------------------------	------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------

法人の業務運営の財務状況に関する事項

5 経営参画意識を高める組織文化の醸成

<p>中期目標</p> <p>5 経営参画意識を高める組織文化の醸成 業務に携わる全ての者が、組織における価値観や中期の経営の方向性を共有する中で、病院経営に対する責任感や使命感を持って積極的に業務改善に取り組み組織文化を醸成すること。</p>

<p>中期計画</p>	<p>年度計画</p>	<p>H22年度上半期 業務実施状況</p>	<p>備考</p>
-------------	-------------	------------------------	-----------

<p>5 経営参画意識を高める組織文化の醸成 (1)経営改善の状況に応じたメリットシステムの導入 医療部門の財務状況を的確に把握するとともに、各部門の自発的な経営努力を促すため、経営改善の状況に応じてその成果を一部還元し、医療水準の向上等のために活用できるメリットシステムを導入する。 (2)経営関係情報の周知 経営関係情報について、わかりやすく職員に周知し、職員の経営参画意識を高める。 (3)職員提案の奨励 職員の病院経営に対する参画意識や目標達成に向けた意欲を高めるため、職員提案を奨励し、提案された内容について、真摯に検討する体制を整備する。</p>	<p>5 経営参画意識を高める組織文化の醸成 (1)経営改善の状況に応じたメリットシステムの導入 メリットシステムの導入に向けた検討を行う。 (2)経営関係情報の周知 経営関係情報について、職員ポータル等を活用し、わかりやすく職員に周知し、職員の経営参画意識を高める。 (3)職員提案の奨励 職員提案の方法や提案された内容を検討する体制を整備する。</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>H22年度上半期 業務実施状況</p> <p>・他県の実施状況を調査するなかで検討中。 ・病院会議において、月ごとの稼働額等の経営情報を、グラフ等で提供している。 ・現行の職員提案制度を見直し、法人独自に職員提案の募集を開始。(12月下旬審査発表)</p>	<p>備考</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------

法人の業務運営の財務状況に関する事項

6 誇りや達成感をもって働くことができる環境の整備

<p>中期目標</p> <p>6 誇りや達成感をもって働くことができる環境の整備 業務に対する誇りや達成感を日々実感しながら働くことができる環境が作り出され、医療従事者が魅力を感じる病院づくりを行うこと。</p>

<p>中期計画</p>	<p>年度計画</p>	<p>H22年度上半期 業務実施状況</p>	<p>備考</p>
-------------	-------------	------------------------	-----------

<p>6 誇りや達成感をもって働くことができる環境の整備 (1)職員満足度調査の実施 働きやすい職場環境の実現に向け、各現場における職員の感想や意見をよりの確に把握するため、職員満足度調査を毎年定期的に実施する。 (2)資格取得を含む研修の充実 病院職員の職務能力の高度・専門化を図るため、資格取得を含む研修制度を整備する。 (3)公平で客観的な人事評価システムの導入 職員の業績や能力を、給与に反映させるとともに、職員の人材育成及び人事管理に活用するための簡素で公平な人事評価制度を構築する。</p>	<p>6 誇りや達成感をもって働くことができる環境の整備 (1)職員満足度調査の実施 働きやすい職場環境の実現に向け、各現場における職員の感想や意見をよりの確に把握するため、職員満足度調査を実施する。 (2)資格取得を含む研修の充実 病院職員の職務能力の高度・専門化を図るため、資格取得を含む研修制度を整備する。 (3)公平で客観的な人事評価システムの導入 職員の業績や能力を、給与に反映させるとともに、職員の人材育成及び人事管理に活用するための簡素で公平な人事評価制度を構築する。</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>H22年度上半期 業務実施状況</p> <p>・他機関の例を参考にすることで、12月実施を目途に準備をすすめている。 ・研修計画を策定する中で、資格取得を含む研修制度を検討する。 ・認定看護師は、毎年1～2名を日本看護協会看護研修学校への研修実施。 ・キャリア支援の在り方を検討するため、専門職支援プロジェクトチームを立ち上げる予定。 ・国や県並びに他の地方独立行政法人の人事評価制度を研究する必要がある。今後、構築に向けた検討を行う。</p>	<p>備考</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------

法人の業務運営の財務状況に関する事項

4 財務状況

業務運営の改善及び効率化などを進め、中期目標期間内の累計の経常収支を黒字とすること。

中期目標	中期計画	年度計画	H22年度上半期 業務実施状況	備考
------	------	------	-----------------	----

「第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」を着実に実施することにより、中期目標期間内の累計の経常収支を黒字とする。

1 予算（平成22年度～平成26年度）
（単位：百万円）

区分	金額
収入	
営業収益	95,673
営業収益益	79,398
運営費負担金	15,401
その他営業収益	380
営業外収益	2,447
運営費負担金	1,937
その他営業外収益	510
資本収入	4,380
運営費負担金	0
長期借入金	4,130
その他資本収入	250
その他の収入	0
計	102,500
支出	
営業費用	80,965
営業費用	79,398
給与費用	42,787
材料費	23,588
経費	12,768
研究研修費	255
一般管理費	1,567
営業外費用	3,099
資本支出	15,457
建設改良費	4,951
償還金	10,506
その他の支出	0
計	99,521

【人件費の見積り】 百万円を支出する。期間中総額44,199 百万円を支出する。なお、当該金額は、法人の役員に係る報酬、基本給、諸手当、法定福利費及び退職手当の額に相当するものである。
【運営費負担金のルール】 救急医療等の政策医療経費については、地方独立行政法人法第85 条第1項の規定により算定された額とする。
長期借入金等元利償還金に充当される運営費負担金は、経常費助成のための運営費負担金とする。

1 予算（平成22年度）
（単位：百万円）

区分	金額
収入	
営業収益	18,404
営業収益益	15,456
運営費負担金	2,872
その他営業収益	76
営業外収益	508
運営費負担金	406
その他営業外収益	102
資本収入	1,196
運営費負担金	0
長期借入金	946
その他資本収入	250
その他の収入	0
計	20,108
支出	
営業費用	15,817
営業費用	15,542
給与費用	8,209
材料費	4,743
経費	2,539
研究研修費	51
一般管理費	275
営業外費用	642
資本支出	3,266
建設改良費	1,372
償還金	1,894
その他の支出	0
計	19,725

【人件費の見積り】 百万円を支出する。期間中総額8,453 百万円を支出する。なお、当該金額は、法人の役員に係る報酬、基本給、諸手当、法定福利費及び退職手当の額に相当するものである。
【運営費負担金のルール】 救急医療等の政策医療経費については、地方独立行政法人法第85 条第1 項の規定により算定された額とする。
長期借入金等元利償還金に充当される運営費負担金は、経常費助成のための運営費負担金とする。

・予算の範囲で執行。

1 予算（平成22年 9月末現在）
（単位：百万円）

区分	金額
収入	
営業収益	10,695
営業収益益	8,235
運営費負担金	2,458
その他営業収益	2
営業外収益	54
運営費負担金	0
その他営業外収益	54
資本収入	0
運営費負担金	0
長期借入金	0
その他資本収入	0
その他の収入	1
計	10,750
支出	
営業費用	6,765
営業費用	6,752
給与費用	3,196
材料費	2,558
経費	976
研究研修費	22
一般管理費	13
営業外費用	299
資本支出	1,340
建設改良費	395
償還金	945
その他の支出	31
計	8,435

・営業収益は、9月末累計の対前年度比較で、中央病院は11.0%増、北病は4.7%増、合計10.2%増と好調。

・収入のうち、運営費負担金は年間予算の3/4を収入済み。
・支出のうち、給与費は、12月期末勤勉手当、退職手当の支出がされ
ておらず、償還金は年間予算の1/2を執行。

・支出予算の執行率42.8%。

2 収支計画 (平成22年度～平成26年度)
(単位:百万円)

区分	金額
収入の部	98,846
営業収益	96,419
医業収益	79,742
運営費負担金収益	15,401
資産見返負債戻入	896
その他営業収益	380
営業外収益	2,427
運営費負担金収益	1,937
その他営業外収益	490
臨時利益	0
支出の部	98,796
営業費用	90,995
医業費用	89,819
給与費	42,412
材料費	22,502
経費	12,468
減価償却費	12,192
研究研修費	245
一般管理費	1,176
営業外費用	5,179
臨時損失	2,622
純利益	50
目的積立金取崩額	0
総利益	50

3 資金計画 (平成22年度～平成26年度)
(単位:百万円)

区分	金額
資金収入	113,714
業務活動による収入	101,791
診療業務による収入	79,098
運営費負担金による収入	17,338
その他の業務活動による収入	5,355
投資活動による収入	0
運営費負担金による収入	0
その他の投資活動による収入	0
財務活動による収入	4,380
長期借入金による収入	4,130
その他の財務活動による収入	250
前期中期目標期間からの繰越金	7,543
資金支出	113,714
業務活動による支出	87,762
給与費支出	43,815
材料費支出	23,592
その他の業務活動による支出	20,355
投資活動による支出	4,951
固定資産の取得による支出	4,951
その他の投資活動による支出	0
財務活動による支出	10,506
長期借入金の返済による支出	1,140
移行前地方債償還債務の償還による支出	9,366
その他の財務活動による支出	0
次期中期目標期間への繰越金	10,495

短期借入金の限度額
1 限度額 1,000百万円
2 想定される短期借入金の発生理由
運営費負担金の交付時期の遅れ等による一時的な資金不足への対応

2 収支計画 (平成22年度)
(単位:百万円)

区分	金額
収入の部	19,144
営業収益	18,640
医業収益	15,426
運営費負担金収益	2,872
資産見返負債戻入	266
その他営業収益	76
営業外収益	504
運営費負担金収益	406
その他営業外収益	98
臨時利益	0
支出の部	19,131
営業費用	17,945
医業費用	17,719
給与費	8,195
材料費	4,525
経費	2,478
減価償却費	2,472
研究研修費	49
一般管理費	226
営業外費用	1,138
臨時損失	48
純利益	13
目的積立金取崩額	0
総利益	13

3 資金計画 (平成22年度)
(単位:百万円)

区分	金額
資金収入	28,379
業務活動による収入	19,640
診療業務による収入	15,291
運営費負担金による収入	3,278
その他の業務活動による収入	1,071
投資活動による収入	0
運営費負担金による収入	0
その他の投資活動による収入	0
財務活動による収入	1,196
長期借入金による収入	946
その他の財務活動による収入	250
前事業年度からの繰越金	7,543
資金支出	28,379
業務活動による支出	17,328
給与費支出	8,511
材料費支出	4,743
その他の業務活動による支出	4,074
投資活動による支出	1,372
固定資産の取得による支出	1,372
その他の投資活動による支出	0
財務活動による支出	1,894
長期借入金の返済による支出	0
移行前地方債償還債務の償還による支出	1,894
その他の財務活動による支出	0
翌事業年度への繰越金	7,785

短期借入金の限度額
1 限度額 1,000百万円
2 想定される短期借入金の発生理由
運営費負担金の交付時期の遅れ等による一時的な資金不足への対応

2 収支計画 (平成22年 9月末現在)
(単位:百万円)

区分	金額
収入の部	10,750
営業収益	10,695
医業収益	8,235
運営費負担金収益	2,458
資産見返負債戻入	0
その他営業収益	2
営業外収益	54
運営費負担金収益	0
その他営業外収益	54
臨時利益	1
支出の部	7,095
営業費用	6,765
医業費用	6,752
給与費	3,196
材料費	2,558
経費	976
減価償却費	0
研究研修費	22
一般管理費	13
営業外費用	299
臨時損失	31
純利益	3,655
目的積立金取崩額	0
総利益	3,655

3 資金計画 (平成22年 9月現在)
(単位:百万円)

区分	金額
資金収入	18,958
業務活動による収入	10,684
診療業務による収入	8,161
運営費負担金による収入	2,458
その他の業務活動による収入	65
投資活動による収入	0
運営費負担金による収入	0
その他の投資活動による収入	0
財務活動による収入	0
長期借入金による収入	0
その他の財務活動による収入	0
前事業年度からの繰越金	8,274
資金支出	18,958
業務活動による支出	8,400
給与費支出	4,128
材料費支出	2,527
その他の業務活動による支出	1,745
投資活動による支出	2,708
固定資産の取得による支出	2,705
その他の投資活動による支出	2,003
財務活動による支出	968
長期借入金の返済による支出	0
移行前地方債償還債務の償還による支出	945
その他の財務活動による支出	23
翌事業年度への繰越金	6,882

追加資料で
詳細に説明

・資金繰りは、順調である。
・短期借入は行っていない。

その他業務運営に関する重要事項

<p>1 保健医療行政への協力 県などが進める保健医療行政に積極的に協力すること。</p> <p>2 法令・社会規範の遵守 病院機構が、県民に信頼され、県内医療機関の模範的役割を果たしていけるよう法令や社会規範等を遵守すること。</p> <p>3 積極的な情報公開 運営の透明性の確保に努め、業務内容や業務運営の改善等の情報発信に積極的に取り組むこと。</p>

中期計画	年度計画
------	------

H22年度上半期	業務実施状況	備考
----------	--------	----

<p>1 保健医療行政への協力 県などが進める保健医療行政に積極的に協力する。</p>	<p>1 保健医療行政への協力 県などが進める保健医療行政に積極的に協力する。</p>
-------------------------------------------------	-------------------------------------------------

<ul style="list-style-type: none"> ・8月に医学部進学セミナーを実施。(参加者 高校生26名、中学生27名) ・10月から来月5月まで毎月1回、県民向けがんセミナーを開催。 ・県が主催する各種委員会等への委員を派遣。 ・県や関係団体主催の研修会等に中央病院会議室を貸し出し。

<p>2 法令・社会規範の遵守 県立病院としての公的使命を適切に果たすため、医療法をはじめとする関係法令を遵守するとともに、内部規律の策定、倫理委員会によるチェック等を通じて、職員の行動規範と倫理を確立する。</p>	<p>2 法令・社会規範の遵守 県立病院としての公的使命を適切に果たすため、医療法をはじめとする関係法令を遵守するとともに、内部規律の策定、倫理委員会によるチェック等を通じて、職員の行動規範と倫理を確立する。</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<ul style="list-style-type: none"> ・独自の職員の分限・懲戒に関する基準の策定を検討。

<p>3 積極的な情報公開 運営の透明性の確保に努め、年度計画の策定時や評価委員会の評価を受けた後などに、ホームページを活用し、業務内容や業務改善等の情報発信に積極的に取り組む。</p>	<p>3 積極的な情報公開 運営の透明性の確保に努め、年度計画の策定時や評価委員会の評価を受けた後などに、ホームページを活用し、業務内容や業務改善等の情報発信に積極的に取り組む。</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------

<ul style="list-style-type: none"> ・年度計画の公表、理事会議事録の公表済み。

<p>4 移行前の退職給付引当金に関する事項 移行前の退職給付引当金の必要額5,969百万円については、移行時に3,579百万円を計上し、残りの額2,390百万円は、中期目標期間内に全額を計上する。</p>	<p>4 移行前の退職給付引当金に関する事項 移行前の退職給付引当金必要額の残額2,390百万円のうち、100百万円を計上する。</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------

<ul style="list-style-type: none"> ・計画どおり進める予定。

<p>5 山梨県地方独立行政法人の業務運営並びに財務及び会計に関する規則第5条で定める事項 (1)施設及び設備に関する計画</p> <table border="1"> <tr> <td>施設及び設備の内容</td> <td>総額</td> <td>国庫補助金、病院施設、医療機器等整備</td> <td>4,723 百万</td> <td>長期借入金等</td> </tr> </table> <p>(2)人事に関する計画 政策医療の確実な実施や質の高い医療の提供に向け、医療従事者の確保など、適切な人事管理を行う。</p> <p>(3)積立金の処分にに関する計画 なし</p> <p>(4)その他法人の業務運営に関し必要な事項 なし</p>	施設及び設備の内容	総額	国庫補助金、病院施設、医療機器等整備	4,723 百万	長期借入金等	<p>5 山梨県地方独立行政法人の業務運営並びに財務及び会計に関する規則第5条で定める事項 (1)施設及び設備に関する計画</p> <table border="1"> <tr> <td>施設及び設備の内容</td> <td>総額</td> <td>国庫補助金、病院施設、医療機器等整備</td> <td>1,325 百万</td> <td>長期借入金等</td> </tr> </table> <p>(2)人事に関する計画 政策医療の確実な実施や質の高い医療の提供に向け、医療従事者の確保など、適切な人事管理を行う。</p>	施設及び設備の内容	総額	国庫補助金、病院施設、医療機器等整備	1,325 百万	長期借入金等
施設及び設備の内容	総額	国庫補助金、病院施設、医療機器等整備	4,723 百万	長期借入金等							
施設及び設備の内容	総額	国庫補助金、病院施設、医療機器等整備	1,325 百万	長期借入金等							

<ul style="list-style-type: none"> ・北病院のオーダリングシステム等が執行できない他は、計画どおり進めている。
